

名前 _____

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック					
	24回	25回	26回	27回	28回	29回
① 確認テスト復習用を解く						
② 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい						
③ 宿題用テキストの基本問題A B・復習問題を解く						

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック					
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く						

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック					
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く						

担当より一言

夏期講習では、前半は天体、後半は化学と大きく分けると2つのテーマに取り組んでいきます。どちらも2回の授業回と1回の演習回で構成されています。

授業回の宿題は第28回をのぞき、これまでと同じく基本問題・復習問題・練習問題となっています。

第28回の宿題は、授業で扱った問題を再度解くのが☆☆☆です。授業用テキストに同じ問題が載っているので、再度解いてみて解き方の確認をしましょう。第28回の宿題用に載っている入試問題に挑戦！は☆☆の位置づけとして取り組みましょう。

演習回の宿題は授業で扱った問題と同じ問題が宿題用テキストに載っていますので、授業で扱った問題が☆☆☆、授業で扱っていない問題は☆☆の位置づけとして取り組みましょう。

第24回の月では、何時に、どの方角に、どの形の月が見えるのかが最重要です。丸暗記ではなく、図を見ながら考えられるようにしていきましょう。

第25回の星では、各季節ごとの代表的な星座と一等星をセットで覚えること、日周運動・年周運動の計算の手順をマスターすることを意識してください。

日周運動…地球の自転が原因で、1時間で15度動いて見える。

年周運動…地球の公転が原因で、1か月で30度動いて見える。

この2つを使って問題を解いていくので、確実に覚えてください。

第27回のもの燃焼その1では、燃焼に関する知識事項の確認が中心です。宿題についても他の回よりも取り組みやすいはずなので、早めに知識を固めてしまいましょう。

第28回のもの燃焼その2では、ものが燃焼したときの重さの変化に関する計算に取り組みます。

ポイントは基準となる数字を書き出して、そこから何倍になっているか比例計算をしていくことです。

この回は授業用テキストに授業で扱った問題をもう1度解くためのページがありますので、基本メニューとしてその問題に取り組みましょう。

※次のページに続きます。

※毎回、前回内容の確認テストを行います。

出題範囲は、これまでと同様に前回授業の内容(基本的には宿題用テキストの基本問題A・基本問題B)となります。基本問題A・Bは、一回解いて終わりにするのではなく、間違えた問題を中心にできるようになるまで繰り返し行ったうえで、確認テストに臨みましょう。

《夏期演習1~4》について

全4回のZoom授業となります。前半2回が「生物総合演習」、後半2回が「地学総合演習」となります。夏期講習前までに扱った内容の復習となります。動画配信がありますので、動画で学ぶこともできます。

テキストの最後に、生物と地学の宿題があります。すでに取り組んだことのある復習問題になっています。こちらは通常授業が始まるまででよいので、少しずつ進めておきましょう。

※5年理科夏期演習Zoom教材宿題解答の大問11の4と5につきまして、解答の記載が抜けておりました。以下、抜けておりました4と5の解答を掲載いたします。

4. 不要物・二酸化炭素(順不同) 5. エ